

- ①未着手の事業は、「基準値(R5)」に「-(半角ハイフン)」が入力されています。
- ②「基準値(R5)」は、R5年度の実績値です。指標単位が%の場合は小数点第1位を四捨五入し、整数で記入しています。
- ③毎年の効果検証は、年度ごとの目標値に対する当該年度の達成率により行います。

基本目標・類型	No	入力担当課	Word 素案 掲載ページ	指標	指標の 単位	基準値(R5) 単年	目標値(R11) 単年	【目標値設定の根拠】と【設定した目標を達成した場合の効果(住民や町がどういう状態になっているか)】
ひとの流れをつくる	4	政策財政課	15	空き家バンクにおける成約件数	件	6	6	【根拠】人口減少により空き家の増加が見込まれるが、空き家バンクへ登録するにあたり、土地の登記が現状と合っていない物件が多いため、登録件数の伸び悩みがある。空き家所有者に対し、空き家バンクへの登録を推進するため、オンラインツールなどを利用して相談体制の充実を図り、基準値と同様の6件を目標値に設定する。 →目標値:6件 【効果】移住定住希望者とのマッチングを行い、人口増加に寄与する。既存住宅・空き家の流通促進を図り、管理不全の空き家解消につながる。
魅力的な地域をつくる	6	総務課	25	アプリを活用した緊急連絡により消防団が出動した割合	%	28	50	【根拠】令和5年度に発生した建物火災における管轄分団の出動率は28%となった。火災発生時には、その地域の管轄分団が出動する消防団の中心となるため、アプリ活用による緊急連絡により出動した管轄分団の割合50%を目標値とする。 →目標値 50% 【効果】上記目標の達成により、すべての火災等に対して迅速な対応がとれている。